



○ 環境整備

YICグループの伝統といってもよいでしょう。月に1回環境整備点検の日というものが設けられています。校外の担当者（グループ内）が学校を訪問され、校舎内外を隅々まで点検して、気づきを指摘してもらう日です。指摘する担当者の方にしても、全ての学校を回って、言いにくくても言わなければならないという役目なので、つらい部分もあるのではなかろうかと想像します。お世話になります。

さて、点検の日までに気になるところを見つけては少しずつ整備をしてきたつもりですが、外部の目というのは鋭いものですね。指摘されたときには「あっそうだった！」と思うものばかりです。かつてどこかで同じように自分も気づいていたものばかりです。そのときにはいつかやろうとスルーしていたのですね。点検日の直前に一気にやろうとするのは負担になるばかりでなく、“抜け”も生じます。「小さなことを気づいたときにすぐやる。」という方がよさそうです。

これは学習（授業）にも当てはまりそうです。「いつか今度、集中して暗記しよう。」ではなく、毎日・毎回の小さな積み重ねの方が結局“楽（らく）そう”です。教員も「この部分はこのような手法で伝えた方が学生の記憶に残りそう。」という工夫点などをときどき思いつくことがあります。“いつか”ではなく、次の授業にさっそく取り入れてみるというフットワークのよさが大切であろうと思います。

もう一つ、校内の環境整備の担当者は決まっていますが、一人だけでは出来ません。教職員及び学生も含めたチームワークが大切でしょう。学習も同じですね。「独学」よりも学校という場での「学び合い」の方が効率よく何倍も自分の学力になるはずです。そういう環境を活用したいものです。

次に取り上げた写真は指摘された箇所です。どのような指摘であったかということここでは記述しません。想像してみてください。写真は整備後の撮影ですので、指摘された状況は写っていません。



上の内容を書きながら、違うことを思い出しました。美術の時間、整理整頓啓発のポスターを制作するとき、図案として“よい状況”や“望ましくない状況”というものが考えられます。このようなことを生徒に伝えていたことがありました。私はできるなら後者は採用してほしくないなと思っていました。現在、日本は比較的きれいな国だとは思いますが、ポイ捨ての現場もまだまだあります。後者の図案を採用した看板の下に限ってたくさん捨てられているという状況もよく見ます。「きれいにお使いいただき、ありがとうございます。」という方が、私は個人的に好きです。

○ 自校自賛

玄関脇の窓辺に飾りをつけてみました。不定期になるとは思いますが、植物展示とともにこれから楽しみながら少しずつ制作して行こうと思います。

今回の植物：シソ（紫蘇）

赤シソと青シソがあります。大葉は青シソの別名とのことです。赤シソは梅干しの彩りに欠かせませんね。青シソはそのまま千切りにして豆腐（素麺も）に添えて食べるのが私は好きです。初夏の爽やかさを感じます。

